



総社市で開催された親プロには、**どういものがあるの？**



乳幼児をもつ保護者を対象にしたプログラム

「**そういえば自分も…
考えよう認めよう**」
～子どものいいところ・
気になるところ～



「**子どもの心に
寄り添うって…**」
～子どもの心の奥の奥、
みえていますか～



「**本を通して親子で
コミュニケーション**」
～読み聞かせ、どうしてる～



「**もうすぐ小学生**」
～期待と不安の中身とは～



学童期の子どもをもつ
保護者を対象にしたプログラム

「**気づいていますか？こどもの
サイン!**」



思春期の子どもをもつ保護者を
対象にしたプログラム

「**子どもの「ケータイ・スマホ」
どう考える**」



他にもいろいろなプログラムがあります。参加される方のニーズに応じた内容のプログラムも用意することができます。

参加者の声

- ちょうど子どものことで悩んでいたタイミングで話が聞けたので、すぐためになりました。もっといろいろな話を聞きたいです。
- 自分にはない考え方にもふれることができたので、とても勉強になりました。短時間でしたが、成長できた気がします。
- 子どもから見た世界で考えることができ、子どもとの関わりを深く見つめられました。ありがとうございました。

「親育ち応援学習プログラム」講座についてのお問い合わせはこちらまで!

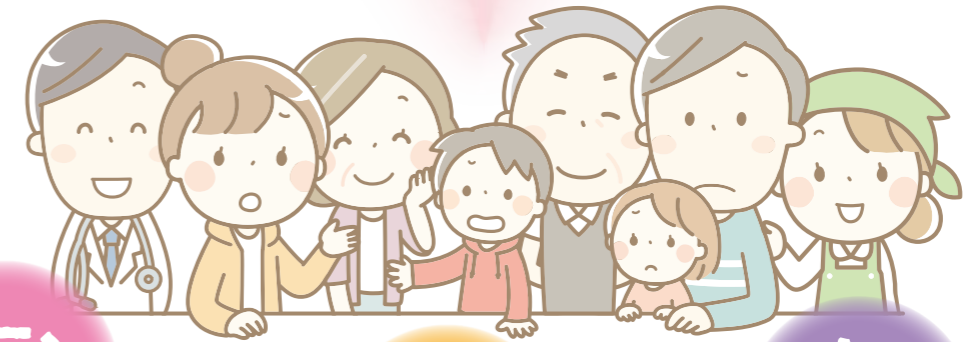
総社市 文化スポーツ部 生涯学習課

〒719-1192 総社市中央一丁目1番1号
TEL: 0866-92-8362 FAX: 0866-92-8386
E-mail: syogai@city.soja.okayama.jp



～一緒に子育てを考えてみませんか～

親育ち応援学習 プログラム



お や そ だ ち

親子で語って
みませんか?

やってみるから
始めてみませんか?

「そうだね」と
肯定してみませんか?

だれもが子どもから大人
になったということ
を思い出してみませんか?

ちょっと立ち止まって
休んでみませんか?

このプログラムでは、親同士をはじめ、若者同士、祖父母、地域の方が交流しながら、子育てについて話し合うことで、色々なことに気づき楽しむことができます。エピソードや資料等をもとに話し合うことにより、「悩んでいるのは自分だけじゃなかったんだ」「このやり方でよかったんだ」と互いに共感し合ったり、「そう考えれば気持ちが楽になる」「こういうやり方もあるんだ」と主体的に学んだりすることができます。

また、参加者同士がつながり合い、支え合うきっかけづくりにもなります。

総社市 文化スポーツ部 生涯学習課





親育ち応援学習プログラム（通称！親プロ）って何？



①目的

子どもの健やかな成長とともに、互いに子育てについて学び合い、親として育ち合うことをサポートするためのプログラムです。

②対象

次代の親となる中高生・まもなく親になる方、乳幼児をもつ保護者、学童期の子どもをもつ保護者、思春期の子どもをもつ保護者、祖父母をはじめ子育てを支援する幅広い年代の方という5段階の年代の方を対象に、子どもの年齢や発達段階に応じて内容を設定しています。

③活用場面

PTA役員研修会や参観日の学年・学級懇談会、入学説明会、子育てサロンなどの勉強会、地域での祖父母同士の交流の場など、子育てに関わる様々な場面で行うことができます。



どうやるの？

<例として「PTAの研修会において学校園で行いたい」と希望した場合>

PTA研修会で行いたいことを、学校園と相談のうえ、日時、場所、参加される方の年代、参加者数を決定

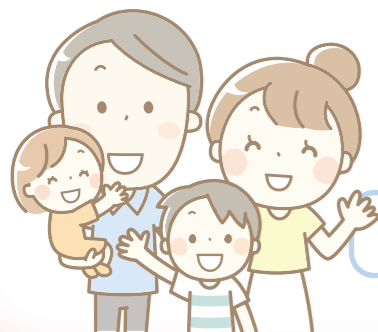
学校園から生涯学習課へ連絡し、どういうプログラムをするか相談

生涯学習課から親プロ※ファシリテーター（進行役）へ連絡してプログラムを行うファシリテーターが決定

ファシリテーターと学校園等が事前打合せをしてプログラムの準備

親プロ開催

参加者のふりかえりを共有



※ファシリテーターの役割
学習をサポートし、進行していく人を「ファシリテーター」といいます。学習に参加した方みんなが安心して取り組めるように工夫したり、学習効果が高まるように助けたりします。



当日はどんなことをするの？



プログラムの特色

このプログラムは、身近なエピソードや資料をもとに参加者同士が話し合い、交流しながら、主体的に学ぶ「参加型の学習プログラム」です。

プログラムの内容によって違いはありますが、学習活動は、次のような流れで進められていきます。

<例としてPTA研修会における「子どもの携帯どう考える？」>

※小学生児童・保護者 約100名が参加したプログラム
ファシリテーター2名、6名ずつのグループで学習しました。

時間	活動	活動のポイント・留意点等
【導入】 10～15分	<ul style="list-style-type: none"> ●ファシリテーターの紹介 ●学習のねらい ●三つの約束 ●アイスブレイク（緊張をときほぐす） ・手つなぎゲーム ●グループ分け 	学習の趣旨を分かりやすく伝えます。 ○初めに参加者全員で三つのルールを確認し、互いに尊重し、みんなが協力しながら進めることできるようにします。 ○数に合わせて手をつないでいくゲームをして、参加者同士が打ち解けられるような雰囲気づくりにします。 ○話し合い等の活動がしやすい人数でグループをつくります。
【展開】 30～60分	<ul style="list-style-type: none"> ●ワーク1 ●ワーク2 	○エピソードや資料等をもとに個人やグループで話し合いを行います。 ・スマホ、インターネットの利点と欠点を出し合う。 ・グループごとに出た内容を発表し、共有する。 ・岡山県子ども安全安心ネットサポーターから資料（データ）をもとにした説明を聞いて自分が家庭でできそうなことを考えてグループ内で発表する。 ・全体で共有し、自分の意見が参加した人達の意見と異なっていたり、同じだったりすることに気づく。
【まとめ】 10～15分	<ul style="list-style-type: none"> ●ふりかえり 	○活動を通して感じた「気づき」や「学び」を記入し、みんなで共有しながら考えをまとめます。 ○アンケートに記入します。

このプログラムには、テストの解答のような「正解」があるわけではありません。参加した方々の一つ一つの意見がすべて**解決**につながっています。大切なことは、積極的な話し合いをすることで**共感**を深めることです。そして、出会いをきっかけにみなさんがつながり合い、**ネットワーク**をつくっていくことです。